

プロジェクトQ・第20章  
若いクアルテット、ハイドンに挑戦する  
公開マスタークラス

講師：今井信子(ヴィオラ) 小栗まち絵(ヴァイオリン)  
2022年10月3日(月)13:00開講 東京音楽大学

13:00-14:10

クアルテット・プリマヴェーラ[石川未央/岡 祐佳里(Vn) 多湖桃子(Va) 大江 慧(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第77番 ハ長調「皇帝」op.76-3

1. Allegro (C major)
2. Poco adagio cantabile (G major)
3. Menuet (C major) - Trio (A minor)
4. Finale. Presto (C minor)

14:10-15:20

シュトラウス・クアルテット[大本和司/福岡真凜(Vn) 花井 結(Va) 松蔭ひかり(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第79番 ニ長調「ラルゴ」op.76-5

1. Allegretto (D major)
2. Largo cantabile e mesto (F# major)
3. Menuet. Allegro(D major) - Trio (D minor)
4. Finale. Presto (D major)

…10分休憩…

15:30-16:40

クアルテット・インフィニート[落合真子/小西健太郎(Vn) 菊田萌子(Va) 松谷壮一郎(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第75番 ト長調「エルデーディ」op.76-1

1. Allegro con spirito (G major)
2. Adagio sostenuto (C major)
3. Menuet. Presto - Trio (G major)
4. Finale. Allegro ma non troppo (G minor)

16:40-17:50

アーテム・クアルテット[橘和美優/佐々木つくし(Vn) 衛藤理子(Va) 田上史奈(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第78番 変口長調「日の出」op.76-4

1. Allegro con spirito (B♭ major)
2. Adagio (E♭ major)
3. Menuet. Allegro - Trio (B♭ major)
4. Finale. Allegro ma non troppo (B♭ major)

…10分休憩…

18:00-19:10

クアルテット・スピト[山本琢也/美島佑哉(Vn) 飯 躰(Va) 佐古健一(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第 80 番 変ホ長調 op.76-6

1. Allegretto (E ♭ major)
2. Fantasia. Adagio (B minor)
3. Menuet. Presto - Alternativo (E ♭ major)
4. Finale. Allegro spiritoso (E ♭ major)

## 【講師プロフィール】

今井信子(ヴィオラ) Nobuko Imai, viola

桐朋学園大学卒業、イエール大学大学院、ジュリアード音楽院を経て、1967 年ミュンヘン、68 年ジュネーヴ両国際コンクールで最高位入賞。70 年西ドイツ音楽功労賞受賞。ベルリン・フィル、ロンドン響、パリ管等と共演。室内楽ではフェルメール・クアルテット、ミケランジェロ弦楽四重奏団のメンバーをつとめたほか、アルゲリッチ、シフ、クレーメル、五嶋みどり、マイルスキーらと共演。カザルスホールの音楽アドバイザーや、ヴィオラスペースの企画・演奏他、ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー、東京国際ヴィオラコンクール審査委員長等を歴任し、常にヴィオラ界をリードし続けている。CD はフィリップス、BIS、グラモフォン等から多数リリース著書に「憧れ ヴィオラとともに」(春秋社)がある。エイボン女性芸術賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞、京都音楽賞、モービル音楽賞、毎日芸術賞、サントリー音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章受章。アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院各教授。上野学園大学特任教授。

小栗まち絵(ヴァイオリン) Machie Oguri, violin

桐朋学園、インディアナ大学に学ぶ。1968 年日本音楽コンクール第 1 位、76 年エヴィアン(現ボルドー)国際室内楽コンクール第 1 位。1974~86 年インターナショナル弦楽四重奏団として活動し、インディアナ大学助教授も務める。これまでに N 響、都響、大阪フィル等主要オーケストラと多数共演。これまでに、日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール、ABC 新人オーディション、神戸国際学生コンクール、T.ヴロンスキ国際無伴奏ヴァイオリン・コンクール(ポーランド)等の審査員、松方ホール音楽賞選考委員等も務める。2004 年エクソンモービル音楽賞、07 年度大阪芸術賞特別賞、09 年度大阪市民表彰、16 年度大阪文化祭賞最優秀賞を受賞。現在、いずみシンフォニエッタ大阪ソロ・コンサートマスター、水戸室内管弦楽団メンバー。東京音楽大学特任教授、相愛大学客員教授。

★テレビマンユニオンチャンネルによる収録・後日配信を予定しています。

主催:プロジェクトQ実行委員会

助成:公益財団法人 青山音楽財団/公益財団法人 朝日新聞文化財団/公益財団法人 野村財団/公益財団法人  
ローム ミュージック ファンデーション

協力:学校法人東京音楽大学/公益財団法人 日本音楽財団(公益財団法人 日本財団助成事業)

制作:テレビマンユニオン

アドヴァイザー

原田幸一郎

プロジェクトQ実行委員会

実行委員長:原田幸一郎

実行委員:今井信子、小栗まち絵、川崎雅夫、菅沼準二、原田禎夫



※体調不良により1組欠席  
急遽予定変更

プロジェクトQ・第20章～若いクアルテット、ハイドンに挑戦する  
公開マスタークラス  
講師：ヴィジョン弦楽四重奏団

10月25日（火）14:15 開場

会場：東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（東京都目黒区上目黒1-9-1）

14:30-15:30

クアルテット・スピト [山本琢也/美島佑哉(Vn) 飯 躰(Va) 佐古健一(Vc)]

♪弦楽四重奏曲 第80番 変ホ長調 op.76-6

…15分休憩…

15:45-16:45

クアルテット・スピト [山本琢也/美島佑哉(Vn) 飯 躰(Va) 佐古健一(Vc)]

♪弦楽四重奏曲 第80番 変ホ長調 op.76-6

…35分休憩…

17:20-18:20

シュトラウス・クアルテット [大本和司/福岡真凜(Vn) 花井 結(Va) 松蔭ひかり(Vc)]

♪弦楽四重奏曲 第79番 ニ長調 「ラルゴ」 op.76-5

…15分休憩…

18:35-19:35

アーテム・クアルテット [橘和美優/佐々木つくし(Vn) 衛藤理子(Va) 田上史奈(Vc)]

♪弦楽四重奏曲 第78番 変ロ長調 「日の出」 op.76-4

※テレビマンユニオンチャンネルによる収録・後日配信を予定

2022/10/13

テレビマンユニオン



プロジェクトQ・第20章  
若いクアルテット、ハイドンに挑戦する  
公開マスタークラス

講師：原田幸一郎(ヴァイオリン、指揮)&原田禎夫(チェロ)

2022年11月20日(日)13:00開講

上野学園大学・同短期大学部 10F「第1リハーサル室」

13:00-14:00

アーテム・クアルテット[佐々木つくし/橘和美優(Vn) 衛藤理子(Va) 田上史奈(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第78番 変ロ長調「日の出」op.76-4

1. Allegro con spirito (B ♭ major)
2. Adagio (E ♭ major)
3. Menuet. Allegro - Trio (B ♭ major)
4. Finale. Allegro ma non troppo (B ♭ major)

14:05-15:05

シュトラウス・クアルテット[大本和司/福岡真凜(Vn) 花井 結(Va) 松蔭ひかり(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第79番 二長調「ラルゴ」op.76-5

1. Allegretto (D major)
2. Largo cantabile e mesto (F ♯ major)
3. Menuet. Allegro(D major) - Trio (D minor)
4. Finale. Presto (D major)

…15分休憩…

15:20-16:20

クアルテット・ルーチェ[竹内鴻史郎/渡辺紗蘭(Vn)中嶋美月(Va)原田佳也(Vc)]

♪弦楽四重奏曲 第76番 二短調「五度」op.76-2

1. Allegro (D minor)
2. Andante o più tosto allegretto (D major)
3. Minuet (D minor) - Trio (D major)
4. Finale. Vivace assai (D major)

16:25-17:25

クアルテット・インフィニート[落合真子/小西健太郎(Vn) 菊田萌子(Va) 松谷壮一郎(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第75番 ト長調「エルデーディ」op.76-1

1. Allegro con spirito (G major)
2. Adagio sostenuto (C major)
3. Menuet. Presto - Trio (G major)
4. Finale. Allegro ma non troppo (G minor)

…15分休憩…

17:40-18:40

クアルテット・スピト[山本琢也/美島佑哉(Vn) 飯 躰(Va) 佐古健一(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第 80 番 変ホ長調 op.76-6

1. Allegretto (E ♭ major)
2. Fantasia. Adagio (B minor)
3. Menuet. Presto - Alternativo (E ♭ major)
4. Finale. Allegro spiritoso (E ♭ major)

### 【講師プロフィール】

原田幸一郎(ヴァイオリン/指揮) Koichiro Harada, violin/conductor

桐朋学園、ジュリアード音楽院に学ぶ。1969 年に東京クワルテットを結成し、翌年ミュンヘン国際コンクールで優勝、その後 12 年間第1ヴァイオリンを務め、数多くの音楽祭に出演。DGG、CBS、RCA などに録音を残す。1988 年指揮者としてデビュー。ハノーファー、エリザベート王妃、ミュンヘン、パガニーニ、ロン＝ティボー国際コンクール等数多くの国際コンクールの審査委員を歴任。インディアナ大学やパリ・エコール・ノルマル音楽院で教授を経て、現在、桐朋学園大学特命教授および東京音楽大学特任教授、マンハッタン音楽院ファカルティ。

原田禎夫(チェロ) Sadao Harada, cello

桐朋学園大学卒。11 歳より齋藤秀雄に師事。第 33 回日本音楽コンクール優勝、毎日芸術賞受賞。東京交響楽団の最年少チェロ首席奏者として活躍したのち渡米、アスペン室内管弦楽団とナッシュビル交響楽団の首席を務めた。その後ジュリアード音楽院に留学。1969 年に創立した東京クワルテットは翌年ミュンヘン国際コンクールで優勝を飾り、以後 30 年、世界の最前線で演奏活動を展開。現在、日本や欧米各地でソロ、室内楽などの演奏活動を行うほか、後進の指導にも力を注いでいる。イエール大学教授、ドイツ国立トロッシゲン音楽大学教授を経て、上野学園大学特任教授。

★テレビマンユニオンチャンネルによる収録・後日配信を予定しています。

主催:プロジェクトQ実行委員会

助成:公益財団法人 青山音楽財団/公益財団法人 朝日新聞文化財団/公益財団法人 野村財団/公益財団法人  
ローム ミュージック ファンデーション

協力:学校法人東京音楽大学/公益財団法人 日本音楽財団(公益財団法人 日本財団助成事業)

制作:テレビマンユニオン

アドヴァイザー

原田幸一郎

プロジェクトQ実行委員会

実行委員長:原田幸一郎

実行委員:今井信子、小栗まち絵、川崎雅夫、菅沼準二、原田禎夫



**プロジェクトQ・第20章**  
**若いクアルテット、ハイドンに挑戦する**  
**公開マスタークラス**  
**講師：ジャン＝ギアン・ケラス(チェロ)**  
**12月17日(土)14:30開講**  
**東京音楽大学(池袋キャンパス)B 館3階 B300**

14:30-15:35

シュトラウス・クアルテット[大本和司/福岡真凜(Vn) 花井 結(Va) 松蔭ひかり(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第 79 番 ニ長調「ラルゴ」 op.76-5

1. Allegretto (D major)
2. Largo cantabile e mesto (F# major)
3. Menuet. Allegro(D major) – Trio (D minor)
4. Finale. Presto (D major)

15:40-16:45

クアルテット・ルーチェ[竹内鴻史郎/渡辺紗蘭(Vn)中嶋美月(Va)原田佳也(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第 76 番 ニ短調「五度」 op.76-2

1. Allegro (D minor)
2. Andante o più tosto allegretto (D major)
3. Minuet (D minor) – Trio (D major)
4. Finale. Vivace assai (D major)

…15分休憩…

17:00-18:05

クアルテット・スピト[山本琢也/美嶋佑哉(Vn) 飯 顕(Va) 佐古健一(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第 80 番 変ホ長調 op.76-6

1. Allegretto (E♭ major)
2. Fantasia. Adagio (B minor)
3. Menuet. Presto – Alternativo (E♭ major)
4. Finale. Allegro spiritoso (E♭ major)

18:10-19:15

クアルテット・プリマヴェーラ[石川未央/岡 祐佳里(Vn) 多湖桃子(Va) 大江 慧(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第 77 番 ハ長調「皇帝」 op.76-3

1. Allegro (C major)
2. Poco adagio cantabile (G major)
3. Menuet (C major) – Trio (A minor)
4. Finale. Presto (C minor)

…15分休憩…

19:30-20:35

アーテム・クアルテット[佐々木つくし/橘和美優(Vn) 衛藤理子(Va) 田上史奈(Vc)]

♪ハイドン:弦楽四重奏曲 第78番 変ロ長調「日の出」op.76-4

1. Allegro con spirito (B ♭ major)
2. Adagio (E ♭ major)
3. Menuet. Allegro - Trio (B ♭ major)
4. Finale. Allegro ma non troppo (B ♭ major)

### 【講師プロフィール】

ジャン＝ギアン・ケラス(チェロ) Jean-Guihen Queyras, Cello

モンリオール生まれ。リヨン国立高等音楽院、フライブルク音楽大学、ジュリアード音楽院でチェロを学ぶ。1990年より2001年までアンサンブル・アンテルコンタンポランのソロ・チェロ奏者を務め、02年にはグレン・グールド賞を受賞したブルーゼの選考により、傑出して有望な若手芸術家に対して贈られるグレン・グールド・プロテジェ賞を受賞。レパートリーはバロックから現代まで多岐にわたり、ウィーン楽友協会、コンセルトヘボウ、ウィグモアホール、カーネギーホール等、欧米の著名コンサートホールの多くでリサイタルを行っている。また、フィルハーモニア管、パリ管、チューリッヒ・トーンハレ管、スイス・ロマン管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、BBC響、フィラデルフィア管、N響、都響、読響をはじめとするオーケストラ、ブリュッヘン、ピエロフラーヴェク、スラットキン、ネゼ＝セガン、リントン、ロトを含む指揮者と共演。演奏楽器は1696年ジョフレド・カップ製(メセナ・ミュージカル・ソシエテ・ジェネラルより貸与)。ドイツ・フライブルク音楽大学教授。

★テレビマンユニオンチャンネルによる収録・後日配信を予定しています。

主催:プロジェクトQ実行委員会

助成:公益財団法人 青山音楽財団/公益財団法人 朝日新聞文化財団/公益財団法人 野村財団/公益財団法人  
ローム ミュージック ファンデーション

協力:学校法人東京音楽大学/公益財団法人 日本音楽財団(公益財団法人 日本財団助成事業)

制作:テレビマンユニオン

アドヴァイザー

原田幸一郎

プロジェクトQ実行委員会

実行委員長:原田幸一郎

実行委員:今井信子、小栗まち絵、川崎雅夫、菅沼準二、原田禎夫

## トライアル・コンサートとは？

トライアル・コンサートは、プロジェクトQ・第20章に参加する6組の若いクアルテットがレッスンを重ね勉強してきた楽曲を、本公演と同じ舞台上、本公演の1か月前に演奏する「試演会」です。マスタークラスでレッスンを重ねてきた成果を、本日お客様の前で全曲を通して披露します。お客様がそれぞれに若いクアルテットの演奏を会場で評価し、演奏をお聴きいただいたご満足度として、お帰りの際に頂戴する入場料に反映させていただきます(100円以上)。また本公演を1か月後に控えた若い奏者たちに、お客様からのご助言などをアンケート用紙にご記入ください。若いクアルテットたちが本公演に向けての参考とさせていただきます。

## プロジェクトQ・第20章、いよいよ本公演！若いクアルテット、ハイドンに挑戦する！

### 【ハイドン「エルデーディ四重奏曲」全曲演奏会】

2023年3月11日(土) TCMホール(東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

#### 第1部 14:00開演

第75番 ト長調「エルデーディ」作品.76-1	クアルテット・インフィニート
第76番 ニ短調「五度」作品.76-2	クアルテット・ルーチェ
第77番 ハ長調「皇帝」作品.76-3	クアルテット・プリマヴェーラ

#### 第2部 19:00開演

第78番 変口長調「日の出」作品.76-4	アーテム・クアルテット
第79番 ニ長調「ラルゴ」作品.76-5	シュトラウス・クアルテット
第80番 変ホ長調 作品.76-6	クアルテット・スピト

2,000円(全席自由) チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:231-919]

### 【マスタークラス(開催実績)】

- ① 10月3日 講師:今井信子(ヴィオラ) & 小栗まち絵(ヴァイオリン)
- ② 10月25日 講師:ヴィジョン弦楽四重奏団
- ③ 11月20日 講師:原田幸一郎(ヴァイオリン、指揮) & 原田禎夫(チェロ)
- ④ 12月17日 講師:ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)

アドバイザー:原田幸一郎

### プロジェクトQ実行委員会

原田幸一郎(実行委員長) 今井信子 小栗まち絵 川崎雅夫 菅沼準二 原田禎夫 ]

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 South 棟 テレビマンユニオン音楽事業部内  
Tel:03-6418-8617



# PROJECT プロジェクトQ・第20章 若いクアルテット、ハイドンに挑戦する

chapter  
トライアル・コンサート  
〈第1日〉

2023年2月10日(金)15:00開演  
会場:TCMホール(東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

主催:プロジェクトQ実行委員会

助成:公益財団法人 青山音楽財団 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団 / 公益財団法人 野村財団

協力:学校法人東京音楽大学 / 公益財団法人 日本音楽財団(公益財団法人 日本財団助成事業)

制作:テレビマンユニオン

# プロジェクトQ・第20章

## ～若いクアルテット、ハイドンに挑戦する トライアル・コンサート〈第1日〉

ハイドン:弦楽四重奏曲 第75番ト長調「エルデーディ」作品.76-1  
Haydn : String Quartet No. 75 in G Major, Op. 76, No. 1

- 1.Allegro con spirito (G major)
- 2.Adagio sostenuto (C major)
- 3.Menuet. Presto – Trio (G major)
- 4.Finale. Allegro ma non troppo (G minor)

クアルテット・インフィニート Quartet Infinito

落合真子／小西健太郎(ヴァイオリン) 菊田萌子(ヴィオラ) 松谷壮一郎(チェロ)

Mako Ochiai / Kentaro Konishi, violin Moeko Kikuta, viola Soichiro Matsutani, cello

2021年 東京藝術大学2年のメンバーにより結成。これまでに市坪俊彦、松原勝也、吉田有紀子に師事。ダニエル・ゲーテ、天下統一アンサンブル(長原幸太、鈴木康浩、中木健二)アカデミー等を受講。「インフィニート=無限」。音楽やメンバーのひとりひとりの持つ無限の可能性を信じ、作品と深く向き合っていきたいという想いを込めて命名。現在、藝大3年に在学中。サントリーホール室内楽アカデミー第7期フェロー。

### 📄 program note

1797年にハイドンが完成させた弦楽四重奏曲集(作品76)の全6曲(第75～80番)は、エルデーティ伯爵のために書かれ、すでに104曲すべての交響曲を書き終えたハイドンの円熟の極みとも言える作曲技法が注ぎ込まれた作品。全6曲中5曲に呼び名があることからわかるように、ハイドンの弦楽四重奏曲の中でも最もよく演奏される作品の一つである。第1番は1797年6月14日までに完成されていた可能性が高いと言われている。

第1楽章は冒頭2小節の序奏があり、続いてチェロから始まる主題が次々に引き継がれていく。第2楽章は深い趣を持つアダージョ、続く3楽章のメヌエットはスケルツォ風にまとめられており、ハイドンの他のメヌエットには見られない極めてユニークなもの。終楽章では、力強いユニゾンによる主題提示の後、対位的に発展し、最後は3連符の余韻を残して終わる。

この曲は、私たちのクアルテットが結成されてすぐに取り組んだ思い出の曲で、夏に軽井沢までマスタークラスを受けに行ったりした思い出があります。今回はその時からパートを入れ替えたこともあり、初めて取り組むような新鮮な気持ちで毎回のレッスンに臨むことができました。各楽器の対話に注目しながらお聴きください。

ハイドン:弦楽四重奏曲 第76番 二短調「五度」作品.76-2

Haydn : String Quartet No. 76 in D Minor, Op. 76, No. 2

- 1.Allegro (D minor)
- 2.Andante o più tosto allegretto (D major)
- 3.Minuet (D minor) – Trio (D major)
- 4.Finale. Vivace assai (D major)

クアルテット・ルーチェ Quartet luce

竹内鴻史郎／渡辺紗蘭(ヴァイオリン) 中嶋美月(ヴィオラ) 原田佳也(チェロ)

Koshiro Takeuchi / Sara Watanabe, violin Mitsuki Nakajima, viola Kaya Harada, cello

東京音楽大学附属高等学校に在学する4人により結成。「ルーチェ」とはイタリア語で「光」輝きの意味を持ち、輝かしい音楽を奏でられるようにという意味を込めて名付けた。2021年東京芸術劇場にて開催された東京音楽大学附属高等学校チャリティーコンサート 2021に出演。原田幸一郎に師事。

### 📄 program note

第1楽章:1797年に作曲されたこの弦楽四重奏曲は、冒頭のA-D-E-Aという下降動機がそれぞれ5度で形成されていることから、この曲は「五度」と呼ばれている。第2主題は、F Durの第1ヴァイオリンの旋律と共に、ヴィオラによって第1主題の動機が用いられる。また展開部では、五度動機がさまざまな形で使われ絡み合い、第2主題が省略された形で再現される。その後、再現部と終結部を通して五度動機の絡み合いによって盛り上がり、第1楽章が結ばれる。

第2楽章:冒頭は、第1ヴァイオリン以外のピッツィカートによる伴奏に乗せて、第1ヴァイオリンが主題を示す。中間部では、d mollに転調し展開していき、中間部が終わると、第1ヴァイオリンの旋律が変奏され再現される。

第3楽章:2本のヴァイオリンのオクターヴの主題と、1小節ずらして同じ主題をヴィオラとチェロのオクターヴが演奏する、2声の平行カノンの形をとっている。異様な雰囲気を持つため「魔女のメヌエット」とも呼ばれている。

第4楽章:交響曲第104番「ロンドン」の終楽章の形式を応用して作曲されている。第1主題が演奏されると必ず主題の最後に静止する独特の様式で作られており、再現部の後はD Durに転調し、全曲が結ばれる。

## トライアル・コンサートとは？

トライアル・コンサートは、プロジェクトQ・第20章に参加する6組の若いクアルテットがレッスンを重ね勉強してきた楽曲を、本公演と同じ舞台上、本公演の1か月前に演奏する「試演会」です。マスタークラスでレッスンを重ねてきた成果を、本日お客様の前で全曲を通して披露します。お客様がそれぞれに若いクアルテットの演奏を会場で評価し、演奏をお聴きいただいたご満足度として、お帰りの際に頂戴する入場料に反映させていただきます(100円以上)。また本公演を1か月後に控えた若い奏者たちに、お客様からのご助言などをアンケート用紙にご記入ください。若いクアルテットたちが本公演に向けての参考とさせていただきます。

## プロジェクトQ・第20章、いよいよ本公演！若いクアルテット、ハイドンに挑戦する！

### 【ハイドン「エルデーディ四重奏曲」全曲演奏会】

2023年3月11日(土) TCMホール(東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

#### 第1部 14:00開演

第75番 ト長調「エルデーディ」作品.76-1	クアルテット・インフィニート
第76番 ニ短調「五度」作品.76-2	クアルテット・ルーチェ
第77番 ハ長調「皇帝」作品.76-3	クアルテット・プリマヴェーラ

#### 第2部 19:00開演

第78番 変ロ長調「日の出」作品.76-4	アーテム・クアルテット
第79番 ニ長調「ラルゴ」作品.76-5	シュトラウス・クアルテット
第80番 変ホ長調 作品.76-6	クアルテット・スピト

2,000円(全席自由) チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:231-919]

### 【マスタークラス(開催実績)】

- ① 10月3日 講師:今井信子(ヴィオラ) & 小栗まち絵(ヴァイオリン)
- ② 10月25日 講師:ヴィジョン弦楽四重奏団
- ③ 11月20日 講師:原田幸一郎(ヴァイオリン、指揮) & 原田禎夫(チェロ)
- ④ 12月17日 講師:ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)

アドヴァイザー:原田幸一郎

### プロジェクトQ実行委員会

原田幸一郎(実行委員長) 今井信子 小栗まち絵 川崎雅夫 菅沼準二 原田禎夫 ]

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 South 棟 テレビマンユニオン音楽事業部内  
Tel:03-6418-8617



# PROJECT プロジェクトQ・第20章 若いクアルテット、ハイドンに挑戦する

chapter  
トライアル・コンサート  
〈第2日〉

2023年2月11日(土) 15:00開演  
会場:TCMホール(東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

主催:プロジェクトQ実行委員会

助成:公益財団法人 青山音楽財団 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団 / 公益財団法人 野村財団

協力:学校法人東京音楽大学 / 公益財団法人 日本音楽財団(公益財団法人 日本財団助成事業)

制作:テレビマンユニオン

# プロジェクトQ・第20章

## ～若いクアルテット、ハイドンに挑戦する

### トライアル・コンサート 〈第2日〉

ハイドン:弦楽四重奏曲 第77番 ハ長調「皇帝」作品76-3

Haydn : String Quartet No. 77 in C Major, Op. 76, No. 3

1. Allegro (C major)
2. Poco adagio cantabile (G major)
3. Menuet (C major) – Trio (A minor)
4. Finale. Presto (C minor)

クアルテット・プリマヴェーラ Quartet Primavera

石川未央／岡 祐佳里(ヴァイオリン) 多湖桃子(ヴィオラ) 大江 慧(チェロ)

Mio Ishikawa / Yukari Oka, violin Momoko Tako, viola Kei Oe, cello

2021年結成。「プリマヴェーラ」とはイタリア語で「春」という意味を持ち、元東京クアルテットの磯村和英に名付けられる。桐朋学園大学の室内楽試験にて優秀な成績を収める。ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン 2022に参加。サントリー室内楽アカデミー第7期フェロー。磯村和英、山崎伸子に師事。

#### 📄 program note

第1楽章:明るくのびやかな第1主題が率直に提示される。その後、付点リズムによる音型が冒頭に出てきた動機と組み合わせあって進んでいく。非常に明るく親しみやすく、ハイドンらしい前向きで元気を与えてくれるような曲である。メロディメーカーのハイドンの心地良い始まりの楽章である。

第2楽章:ハイドンが作曲した『神よ、皇帝フランツを守りたまえ』という、オーストリア国家(現ドイツ)及び皇帝を賛える歌が、第2楽章の主題になっていることから、この曲は「皇帝」と呼ばれている。この皇帝賛歌は、ハイドンが長年つとめた宮廷楽長を退きイギリスに渡った際に、イギリス国歌に感動し、オーストリアにも同様の曲が必要だと考え作曲した。現在この曲はドイツ国歌となっている。

第3楽章:シンプルなメヌエット主題が出てくる。その後のトリオは短調になるが、後半では長調に変わり、対比的に示されている。

第4楽章:切迫するように和音的な動機が力強く展開され、その後すぐに弱音で旋律的な動機へと続いていく。徐々に明るさを増していき、ラストはハイドンらしい明るくて元気な展開を見せながら、盛り上がっていく。

ハイドン:弦楽四重奏曲 第79番 ニ長調「ラルゴ」作品76-5

Haydn : String Quartet No. 79 in D Major, Op. 76, No. 5

1. Allegretto (D major)
2. Largo cantabile e mesto (F# major)
3. Menuet. Allegro (D major) – Trio (D minor)
4. Finale. Presto (D major)

シュトラウス・クアルテット Strauß Quartet

大本和司／福岡真凜(ヴァイオリン) 花井 結(ヴィオラ) 松蔭ひかり(チェロ)

Kazushi Omoto / Marin Fukuoka, violin Yui Hanai, viola Hikari Matsukage, cello

2022年、プロジェクトQ・第20章の参加を機に相愛大学の学生により結成。「シュトラウス」とはドイツ語で「花束」を意味する。愛や悲しみ、人生の煌めきとも言える美しい瞬間を花束のような色彩豊かな音で奏でたい、という想いから命名。メンバーはそれぞれ小澤国際室内楽アカデミー奥志賀やヴィオラスペースに参加し、室内楽の研鑽を重ねてきた。大谷玲子、上森祥平に師事。

#### 📄 program note

曲目の標題である「ラルゴ」は本来、演奏速度を表す言葉であり、なぜこのような名前がつけられているのか不思議に思われる方もいるかもしれません。第2楽章“Largo Cantabile e mesto”この楽章こそが曲名の由来です。全曲を通してその名を付けたいくなるほどの魅力は一体どこにあるのでしょうか？他の楽章と併せて後ほどご紹介したいと思います。

第1楽章:変形された三部形式。冒頭から現れる第1主題は、ハイドンが人生の多くを過ごしたウィーンの軽やかで洗練された雰囲気を感じられます。

第2楽章:三部形式。mestoはイタリア語で悲しみや痛みを意味しますが、Fis Durで描かれるその世界は決して暗くはありません。紡ぎ出される音の数々は、まもなく痛みを越え救いとなり、やがて静かな温もりを生むこととなります。

第3楽章:メヌエットの冒頭は第2楽章と共通の音型が用いられています。宮廷舞曲らしい穏やかで優美な旋律の中に、細やかな遊び心が垣間見えます。対するトリオは、妖艶な響きが心を惑わせます。ふつふつと静かにたぎる炎を連想させるチェロの音色がとても魅力的です。

第4楽章:ソナタ形式。眩い光を放つように幕が開けます。一貫して刻み続ける鼓動の上をなんとも華麗に駆け抜けていくその旋律は、聞き手に更なる興味と興奮をもたらすでしょう。

ハイドンの楽譜はとてもシンプルに書かれており、その表情は演奏する奏者によって様々だと思います。大切にしたいのは想像力。私たちシュトラウス・クアルテットが見つめるハイドンの世界を、皆様にも一緒に味わっていただけたらと思います。

## トライアル・コンサートとは？

トライアル・コンサートは、プロジェクトQ・第20章に参加する6組の若いクアルテットがレッスンを重ね勉強してきた楽曲を、本公演と同じ舞台上、本公演の1か月前に演奏する「試演会」です。マスタークラスでレッスンを重ねてきた成果を、本日お客様の前で全曲を通して披露します。お客様がそれぞれに若いクアルテットの演奏を会場で評価し、演奏をお聴きいただいたご満足度として、お帰りの際に頂戴する入場料に反映させていただきます(100円以上)。また本公演を1か月後に控えた若い奏者たちに、お客様からのご助言などをアンケート用紙にご記入ください。若いクアルテットたちが本公演に向けての参考とさせていただきます。

## プロジェクトQ・第20章、いよいよ本公演！若いクアルテット、ハイドンに挑戦する！

### 【ハイドン「エルデーディ四重奏曲」全曲演奏会】

2023年3月11日(土) TCMホール(東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

第1部 14:00開演

第75番 ト長調「エルデーディ」作品.76-1	クアルテット・インフィニート
第76番 ニ短調「五度」作品.76-2	クアルテット・ルーチェ
第77番 ハ長調「皇帝」作品.76-3	クアルテット・プリマヴェーラ

第2部 19:00開演

第78番 変ロ長調「日の出」作品.76-4	アーテム・クアルテット
第79番 ニ長調「ラルゴ」作品.76-5	シュトラウス・クアルテット
第80番 変ホ長調 作品.76-6	クアルテット・スビト

2,000円(全席自由) チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 231-919]

### 【マスタークラス(開催実績)】

- ① 10月3日 講師:今井信子(ヴィオラ) & 小栗まち絵(ヴァイオリン)
- ② 10月25日 講師:ヴィジョン弦楽四重奏団
- ③ 11月20日 講師:原田幸一郎(ヴァイオリン、指揮) & 原田禎夫(チェロ)
- ④ 12月17日 講師:ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)

アドヴァイザー:原田幸一郎

### プロジェクトQ実行委員会

原田幸一郎(実行委員長) 今井信子 小栗まち絵 川崎雅夫 菅沼準二 原田禎夫

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 South 棟 テレビマンユニオン音楽事業部内  
Tel:03-6418-8617



# PROJECT プロジェクトQ・第20章 若いクアルテット、ハイドンに挑戦する

chapter  
トライアル・コンサート  
〈第3日〉

2023年2月12日(日)15:00開演  
会場:TCMホール(東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

主催:プロジェクトQ実行委員会

助成:公益財団法人 青山音楽財団 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団 / 公益財団法人 野村財団  
協力:学校法人東京音楽大学 / 公益財団法人 日本音楽財団(公益財団法人 日本財団助成事業)

制作:テレビマンユニオン

# プロジェクトQ・第20章

## ～若いクアルテット、ハイドンに挑戦する

### トライアル・コンサート 〈第3日〉

ハイドン:弦楽四重奏曲 第78番 変ロ長調「日の出」作品.76-4

Haydn : String Quartet No. 78 in B-Flat Major, Op. 76, No. 4

1. Allegro con spirito (B ♭ major)
2. Adagio (E ♭ major)
3. Menuet. Allegro – Trio (B ♭ major)
4. Finale. Allegro ma non troppo (B ♭ major)

アーテム・クアルテット Atem Quartet

佐々木つくし／橘和美優(ヴァイオリン) 衛藤理子(ヴィオラ) 田上史奈(チェロ)

Tsukushi Sasaki / Miyu Kitsuya, violin Riko Eto, viola Fumina Tagami, cello

2020年10月東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校の同級生4人により結成する。霧島国際音楽祭、ヴィオラスペース、プロジェクトQ・第19章等で研鑽を重ねる。これまでに、菅谷早葉、松原勝也、磯村和英、故川崎和憲、河野文昭、菊地知也に師事。「アーテム」とはドイツ語で「息・呼吸」の意味。呼吸を共有し、息遣いのように自然な音楽とアンサンブルを目指す。

#### 📄 program note

「日の出」という副題は第1楽章冒頭に由来している。下3声の保続低音上を第1ヴァイオリンがゆるやかに上昇する様が、まるで地平線から太陽がゆっくり昇っていくようなことから、このように呼ばれるようになった。日が昇ると清々しい朝を迎え、16分音符の動きによって人々がはつらつと生活をしているような、フレッシュな世界が幕を開ける。

第1楽章で紆余曲折を経て訪れるのが、至高の第2楽章。愛情で満ち溢れており、その間から垣間見える感情の高まりや不安な心情、楽譜上に記号を用いて示されるそれらの心境の色が、この楽章をより魅力的に彩っている。第3楽章は踊りである。メヌエット部とトリオ部の2つで構成されており、メヌエット部では半音の動きと跳躍の音型の組み合わせが、踊りに生き生きとした動きを与える。トリオ部ではヴィオラとチェロによる低音の持続が音楽を支配、バグパイプを彷彿とさせるのである。そして、*messa voce* で始まる最終楽章。4人で小声での会話を楽しんでいるようで、時折出てくる装飾音からはクスクスと笑い声が聞こえる。一方で中間部は、今までの会話を切り捨てるかのような厳しい和声と縦の響きに支配されるが、気づけばまた会話へと戻ってくる。曲の最後は、その会話の応酬である。コロコロと加速して行き、最後はユニゾンを持って華やかに締めくくられる。

ハイドン:弦楽四重奏曲 第80番 変ホ長調 作品.76-6

Haydn : String Quartet No. 80 in E-Flat Major, Op. 76, No. 6

1. Allegretto (E ♭ major)
2. Fantasia. Adagio (B minor)
3. Menuet. Presto – Alternativo (E ♭ major)
4. Finale. Allegro spiritoso (E ♭ major)

クアルテット・スビト Quartet Subito

山本琢也／菊池実月(ヴァイオリン) 飯 顕(ヴィオラ) 佐古健一(チェロ)

Takuya Yamamoto / Mizuki Kikuchi, violin Akira Ii, viola Kenichi Sako, cello

2022年10月、プロジェクトQ・第20章の参加をきっかけに、クラシック・キャラバン 2022 日本ツアーのオーケストラのメンバーで結成された。メンバーはそれぞれ国内外でフリー奏者として活動しており、急遽クアルテットを結成したことがグループ名の由来。

#### 📄 program note

今プロジェクトの課題である弦楽四重奏 Op. 76 には私たちが勉強してきた第6番以外の1番から5番にはもれなく曲のニックネームがついています。そのことからわかるように第6番は他の曲より若干演奏や録音の頻度は多くないと感じます。私たち4人にとっても初めて勉強する曲です。リハーサルの度にハイドンが形式的、音楽的な常識とは意図的に異なるように作っているように感じる箇所をたくさん見つけました。作曲家の高度なユーモアを感じましたし、答えのない正解を求めて頭を悩ます事も多々ありました。

Es Dur の第1楽章は Allegretto の変奏曲となっており、詩的な主題のバリエーションが続きます。第1主題の出だしのフォルテはトニック、続くピアノはドミナント、続くトニックはフォルテ、最後のドミナントにはピアノが書かれており、通常演奏する時の和声的な性格とは逆の指示になります。最後だけテンポが Allegro のフーガが始まり、それまでの比較のおとなしいバリエーションとの対比を感じます。

第2楽章は Fantasia と書かれている通り、とても美しい主題が次々と転調されます。そのためか楽章の頭には調合が記されていません。

第3楽章の Menuet の次に Alternativo(代用品)とあるのも独特です。

第4楽章も偽の再現部があったりします。ご紹介した以外にも多数のユーモアが散りばめられており、学べば学ぶほど味わい深くなる曲だと思います。

第1楽章: 明るくのびやかな第1主題が率直に提示される。その後、付点リズムによる音型が冒頭に出てきた動機と組み合わせられて進んでいく。非常に明るく親しみやすく、ハイドンらしい前向きで元気を与えてくれるような曲である。メロディメーカーのハイドンの心地良い始まりの楽章である。

第2楽章: ハイドンが作曲した『神よ、皇帝フランツを守りたまえ』という、オーストリア国家(現ドイツ)及び皇帝を賛える歌が、第2楽章の主題になっていることから、この曲は「皇帝」と呼ばれている。この皇帝賛歌は、ハイドンが長年つとめた宮廷楽長を退きイギリスに渡った際に、イギリス国歌に感動し、オーストリアにも同様の曲が必要だと考え作曲した。現在この曲はドイツ国歌となっている。

第3楽章: シンプルなメヌエット主題が出てくる。その後のトリオは短調になるが、後半では長調に変わり、対比的に示されている。

第4楽章: 切迫するように和音的な動機が力強く展開され、その後すぐに弱音で旋律的な動機へと続いていく。徐々に明るさを増していき、ラストはハイドンらしい明るくて元気な展開を見せながら、盛り上がっていく。

【公開マスタークラス(開催実績)】

- 2022年10月3日 講師: 今井信子(ヴィオラ) & 小栗まち絵(ヴァイオリン)  
2022年10月25日 講師: ヴィジョン弦楽四重奏団  
2022年11月20日 講師: 原田幸一郎(ヴァイオリン、指揮) & 原田禎夫(チェロ)  
2022年12月17日 講師: ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)

【トライアル・コンサート(開催実績)】

2023年2月10日、11日、12日

アドバイザー: 原田幸一郎

プロジェクトQ実行委員会

原田幸一郎(実行委員長) 今井信子 小栗まち絵 川崎雅夫 菅沼準二 原田禎夫

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 South 棟 テレビマンユニオン音楽事業部内

Tel: 03-6418-8617



# PROJECT プロジェクトQ・第20章 若いクアルテット、ハイドンに挑戦する

chapter  
20  
ハイドン「エルデーディ四重奏曲」  
全曲演奏会①

2023年3月11日(土) 14:00開演  
会場: TCM ホール (東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

主催: プロジェクトQ実行委員会

助成: 公益財団法人 青山音楽財団 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団 / 公益財団法人 野村財団

協力: 学校法人東京音楽大学 / 公益財団法人 日本音楽財団(公益財団法人 日本財団助成事業)

制作: テレビマンユニオン

## ハイドン:弦楽四重奏曲 第75番ト長調「エルデーティ」作品76-1

Haydn : String Quartet No. 75 in G Major, Op. 76, No. 1

1. Allegro con spirito (G major)
2. Adagio sostenuto (C major)
3. Menuet. Presto - Trio (G major)
4. Finale. Allegro ma non troppo (G minor)

## クアルテット・インフィニート Quartet Infinite

落合真子／小西健太郎(ヴァイオリン) 菊田萌子(ヴィオラ) 松谷壮一郎(チェロ)

Mako Ochiai / Kentaro Konishi, violin Moeko Kikuta, viola Soichiro Matsutani, cello

2021年 東京藝術大学2年のメンバーにより結成。これまでに市坪俊彦、松原勝也、吉田有紀子に師事。ダニエル・ゲーテ、天下統一アンサンブル(長原幸太、鈴木康浩、中木健二)アカデミー等を受講。「インフィニート=無限」。音楽やメンバーのひとりひとりの持つ無限の可能性を信じ、作品と深く向き合っていきたいという想いを込めて命名。現在、藝大3年に在学中。サントリーホール室内楽アカデミー第7期フェロー。

### 📄 program note

1797年にハイドンが完成させた弦楽四重奏曲集(作品76)の全6曲(第75~80番)は、エルデーティ伯爵のために書かれ、すでに104曲すべての交響曲を書き終えたハイドンの円熟の極みとも言える作曲技法が注ぎ込まれた作品。全6曲中5曲に呼び名があることからわかるように、ハイドンの弦楽四重奏曲の中でも最もよく演奏される作品の一つである。第1番は1797年6月14日までに完成されていた可能性が高いと言われている。

第1楽章は冒頭2小節の序奏があり、続いてチェロから始まる主題が次々に引き継がれていく。第2楽章は深い趣を持つアダージョ、続く3楽章のメヌエットはスケルツォ風にまとめられており、ハイドンの他のメヌエットには見られない極めてユニークなもの。終楽章では、力強いユニゾンによる主題提示の後、対位的に発展し、最後は3連符の余韻を残して終わる。

この曲は、私たちのクアルテットが結成されてすぐに取り組んだ思い出の曲で、夏に軽井沢までマスタークラスを受けに行ったりした思い出があります。今回はその時からパートを入れ替えたこともあり、初めて取り組むような新鮮な気持ちで毎回のレッスンに臨むことができました。各楽器の対話に注目しながらお聴きください。

## ハイドン:弦楽四重奏曲 第76番ニ短調「五度」作品76-2

Haydn : String Quartet No. 76 in D Minor, Op. 76, No. 2

1. Allegro (D minor)
2. Andante o più tosto allegretto (D major)
3. Minuet (D minor) - Trio (D major)
4. Finale. Vivace assai (D major)

## クアルテット・ルーチェ Quartet luce

竹内鴻史郎／渡辺紗蘭(ヴァイオリン) 中嶋美月(ヴィオラ) 原田佳也(チェロ)

Koshiro Takeuchi / Sara Watanabe, violin Mitsuki Nakajima, viola Kaya Harada, cello

東京音楽大学附属高等学校に在学する4人により結成。「ルーチェ」とはイタリア語で「光」輝きの意味を持ち、輝かしい音楽を奏でられるようにという意味を込めて名付けた。2021年東京芸術劇場にて開催された東京音楽大学附属高等学校チャリティーコンサート2021に出演。原田幸一郎に師事。

### 📄 program note

第1楽章:1797年に作曲されたこの弦楽四重奏曲は、冒頭のA-D-E-Aという下降動機がそれぞれ5度で形成されていることから、この曲は「五度」と呼ばれている。第2主題は、F Durの第1ヴァイオリンの旋律と共に、ヴィオラによって第1主題の動機が用いられる。また展開部では、五度動機がさまざまな形で使われ絡み合い、第2主題が省略された形で再現される。その後、再現部と終結部を通して五度動機の絡み合いによって盛り上がり、第1楽章が結ばれる。

第2楽章:冒頭は、第1ヴァイオリン以外のピッツィカートによる伴奏に乗せて、第1ヴァイオリンが主題を示す。中間部では、d mollに転調し展開していき、中間部が終わると、第1ヴァイオリンの旋律が変奏され再現される。

第3楽章:2本のヴァイオリンのオクターヴの主題と、1小節ずらして同じ主題をヴィオラとチェロのオクターヴが演奏する、2声の平行カノンの形をとっている。異様な雰囲気を持つため「魔女のメヌエット」とも呼ばれている。

第4楽章:交響曲第104番「ロンドン」の終楽章の形式を応用して作曲されている。第1主題が演奏されると必ず主題の最後に静止する独特の様式で作られており、再現部の後はD Durに転調し、全曲が結ばれる。

\*\*\*\*\*

## ハイドン:弦楽四重奏曲 第77番ハ長調「皇帝」作品76-3

Haydn : String Quartet No. 77 in C Major, Op. 76, No. 3

1. Allegro (C major)
2. Poco adagio cantabile (G major)
3. Menuet (C major) - Trio (A minor)
4. Finale. Presto (C minor)

## クアルテット・プリマヴェーラ Quartet Primavera

石川未央／岡 祐佳里(ヴァイオリン) 多湖桃子(ヴィオラ) 大江 慧(チェロ)

Mio Ishikawa / Yukari Oka, violin Toko Tago, viola Kei Oe, cello

2021年結成。「プリマヴェーラ」とはイタリア語で「春」という意味を持ち、元東京クアルテットの磯村和英に名付けられる。桐朋学園大学の室内楽試験にて優秀な成績を収める。ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン 2022に参加。サントリー室内楽アカデミー第7期フェロー。磯村和英、山崎伸子に師事。

## クアルテット・スビト Quartet Subito

山本琢也／菊池実月(ヴァイオリン) 飯 顕(ヴィオラ) 佐古健一(チェロ)

Takuya Yamamoto / Mizuki Kikuchi, violin Akira Ii, viola Kenichi Sako, cello

2022年10月、プロジェクトQ・第20章の参加をきっかけに、クラシック・キャラバン2022日本ツアーのオーケストラのメンバーで結成された。メンバーはそれぞれ国内外でフリー奏者として活動しており、急遽クアルテットを結成したことがグループ名の由来。

### 📖 program note

今プロジェクトの課題である弦楽四重奏 Op. 76 には私たちが勉強してきた第6番以外の1番から5番にはもれなく曲のニックネームがついています。そのことからわかるように第6番は他の曲より若干演奏や録音の頻度は多くないように感じます。私たち4人にとっても初めて勉強する曲です。リハーサル度にハイドンが形式的、音楽的な常識とは意図的に異なるように作っているように感じる箇所をたくさん見つけました。作曲家の高度なユーモアを感じましたし、答えのない正解を求めて頭を悩ます事も多々ありました。

Es Durの第1楽章はAllegrettoの変奏曲となっており、詩的な主題のバリエーションが続きます。第1主題の出だしのフォルテはトニック、続くピアノはドミナント、続くトニックはフォルテ、最後のドミナントにはピアノが書かれており、通常演奏する時の和声的な性格とは逆の指示になります。最後だけテンポがAllegroのフーガが始まり、それまでの比較のおとなしいバリエーションとの対比を感じます。

第2楽章はFantasiaと書かれている通り、とても美しい主題が次々と転調されます。そのためか楽章の頭には調合が記されていません。

第3楽章のMenuetの次にAlternativo(代用品)とあるのも独特です。

第4楽章も偽の再現部があったりします。ご紹介した以外にも多数のユーモアが散りばめられており、学べば学ぶほど味わい深くなる曲だと思います。

### 【公開マスタークラス(開催実績)】

- 2022年10月3日 講師: 今井信子(ヴィオラ) & 小栗まち絵(ヴァイオリン)
- 2022年10月25日 講師: ヴィジョン弦楽四重奏団
- 2022年11月20日 講師: 原田幸一郎(ヴァイオリン、指揮) & 原田禎夫(チェロ)
- 2022年12月17日 講師: ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)

### 【トライアル・コンサート(開催実績)】

2023年2月10日、11日12日

アドヴァイザー: 原田幸一郎

### プロジェクトQ実行委員会

原田幸一郎(実行委員長) 今井信子 小栗まち絵 川崎雅夫 菅沼準二 原田禎夫

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 South 棟 テレビマンユニオン  
音楽事業部内 Tel: 03-6418-8617



# PROJECT プロジェクトQ・第20章 若いクアルテット、ハイドンに挑戦する

chapter  
20  
ハイドン「エルデーディ四重奏曲」  
全曲演奏会②

2023年3月11日(土)19:00開演  
会場: TCM ホール (東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

主催: プロジェクトQ実行委員会

助成: 公益財団法人 青山音楽財団 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団 / 公益財団法人 野村財団

協力: 学校法人東京音楽大学 / 公益財団法人 日本音楽財団(公益財団法人 日本財団助成事業)

制作: テレビマンユニオン

## ハイドン:弦楽四重奏曲 第 78 番 変ロ長調「日の出」作品.76-4

Haydn : String Quartet No. 78 in B-Flat Major, Op. 76, No. 4

1. Allegro con spirito (B ♭ major)
2. Adagio (E ♭ major)
3. Menuet. Allegro - Trio (B ♭ major)
4. Finale. Allegro ma non troppo (B ♭ major)

### アーテム・クアルテット Atem Quartet

佐々木つくし／橘和美優(ヴァイオリン) 衛藤理子(ヴィオラ) 田上史奈(チェロ)

Tsukushi Sasaki / Miyu Kitsuwaka, violin Riko Eto, viola Fumina Tagami, cello

2020 年 10 月東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校の同級生 4 人により結成する。霧島国際音楽祭、ヴィオラスペース、プロジェクト Q・第 19 章等で研鑽を重ねる。これまでに、菅谷早葉、松原勝也、磯村和英、故川崎和憲、河野文昭、菊地知也に師事。「アーテム」とはドイツ語で「息・呼吸」の意味。呼吸を共有し、息遣いのように自然な音楽とアンサンブルを目指す。

#### 📖 program note

「日の出」という副題は第 1 楽章冒頭に由来している。下 3 声の保続低音上を第 1 ヴァイオリンがゆるやかに上昇する様が、まるで地平線から太陽がゆっくり昇っていくようであることから、このように呼ばれるようになった。日が昇ると清々しい朝を迎え、16 分音符の動きによって人々がはつらつと生活をしているような、フレッシュな世界が幕を開ける。

第 1 楽章で紆余曲折を経て訪れるのが、至高の第 2 楽章。愛情で満ち溢れており、その間から垣間見える感情の高まりや不安な心情、楽譜上に記号を用いて示されるそれらの心境の色が、この楽章をより魅力的に彩っている。第 3 楽章は踊りである。メヌエット部とトリオ部の 2 つで構成されており、メヌエット部では半音の動きと跳躍の音型の組み合わせが、踊りに生き生きとした動きを与える。トリオ部ではヴィオラとチェロによる低音の持続が音楽を支配、バグパイプを彷彿とさせるのである。そして、*messa voce* で始まる最終楽章。4 人で小声での会話を楽しんでいるようで、時折出てくる装飾音からはクスクスと笑い声が聞こえる。一方で中間部は、今までの会話を切り捨てるかのような厳しい和声と縦の響きに支配されるが、気づけばまた会話へと戻ってくる。曲の最後は、その会話の応酬である。コロコロと加速して行き、最後はユニゾンを持って華やかに締めくくられる。

## ハイドン:弦楽四重奏曲 第 79 番 ニ長調「ラルゴ」作品.76-5

Haydn : String Quartet No. 79 in D Major, Op. 76, No. 5

1. Allegretto (D major)
2. Largo cantabile e mesto (F ♯ major)
3. Menuet. Allegro (D major) - Trio (D minor)
4. Finale. Presto (D major)

## シュトラウス・クアルテット Strauß Quartet

大本和司／福岡真凜(ヴァイオリン) 花井 結(ヴィオラ) 松蔭ひかり(チェロ)

Kazushi Omoto / Marin Fukuoka, violin Yui Hanai, viola Hikari Matsukage, cello

2022 年、プロジェクト Q・第 20 章の参加を機に相愛大学の学生により結成。「シュトラウス」とはドイツ語で「花束」を意味する。愛や悲しみ、人生の煌めきとも言える美しい瞬間を花束のような色彩豊かな音で奏でたい、という想いから命名。メンバーはそれぞれ小澤国際室内楽アカデミー奥志賀やヴィオラスペースに参加し、室内楽の研鑽を重ねてきた。大谷玲子、上森祥平に師事。

#### 📖 program note

曲目の標題である「ラルゴ」は本来、演奏速度を表す言葉であり、なぜこのような名前がつけられているのか不思議に思われる方もいるかもしれませんが。第 2 楽章“Largo Cantabile e mesto” この楽章こそが曲名の由来です。全曲を通してその名を付けたいほどの魅力は一体どこにあるのでしょうか？他の楽章と併せて後ほどご紹介したいと思います。

第 1 楽章:変形された三部形式。冒頭から現れる第 1 主題は、ハイドンが人生の多くを過ごしたウィーンの軽やかで洗練された雰囲気が感じられます。

第 2 楽章:三部形式。mesto はイタリア語で悲しみや痛みを意味しますが、Fis Dur で描かれるその世界は決して暗くはありません。紡ぎ出される音の数々は、まもなく痛みを越え救いとなり、やがて静かな温もりを生むこととなります。

第 3 楽章:メヌエットの冒頭は第 2 楽章と共通の音型が用いられています。宮廷舞曲らしい穏やかで優美な旋律の中に、細やかな遊び心が垣間見えます。対するトリオは、妖艶な響きが心を感ぜさせます。ふつふつと静かにたぎる炎を連想させるチェロの音色がとても魅力的です。

第 4 楽章:ソナタ形式。眩い光を放つように幕が開けます。一貫して刻み続ける鼓動の上をなんと華麗に駆け抜けていくその旋律は、聞き手に更なる興味と興奮をもたらすでしょう。

ハイドンの楽譜はとてもシンプルに書かれており、その表情は演奏する奏者によって様々だと思います。大切にしたいのは想像力。私たちシュトラウス・クアルテットが見つめるハイドンの世界を、皆様にも一緒に味わっていただけたらと思います。

\*\*\*\*\*

## ハイドン:弦楽四重奏曲 第 80 番 変ホ長調 作品.76-6

Haydn : String Quartet No. 80 in E-Flat Major, Op. 76, No. 6

1. Allegretto (E ♭ major)
2. Fantasia. Adagio (B minor)
3. Menuet. Presto - Alternativo (E ♭ major)
4. Finale. Allegro spiritoso (E ♭ major)